



ぼうさい
こくたい
2021
—いわた 釜石から—

「ぼうさいこくたい 2021」セッション/日本学術会議公開シンポジウム

21 世紀の国難災害を乗り越えるレジリエンスとは ～防災統合知の構築戦略～

■日 時: 令和 3 年 11 月 6 日(土)16:30~18:00

■場 所: オンライン(Zoom、You Tube Live 配信)

■主 催: 日本学術会議土木工学・建築委員会 IRDR 分科会、防災減災連携研究ハブ(JHoP)

■開催趣旨: 南海トラフ地震、首都直下地震など巨大災害の発生が切迫している。また、地球規模の気候変動により、全国的に甚大な水害の発生の危険性が高まっていて、経済・社会活動が集中する首都圏では深刻である。こうした国難級リスクに適切に備え、被害を軽減し、並びに早期に回復する力、つまり災害レジリエンスの向上を図るためには、既存の学問分野の枠組みに囚われず、人文社会科学も含めた「総合知」により立ち向かう必要がある。他分野で活躍する日本を代表する研究者らによって、その構想や戦略について討議する。

■プログラム

16:30 開会挨拶: 林 春男 (国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長、日本学術会議連携会員)

16:35 災害レジリエンスの「型」の構築

永松 伸吾 (国立研究開発法人防災科学技術研究所災害過程研究部門部門長/関西大学社会安全学部教授)

16:45 リアルタイム災害科学の創成とレジリエンスの数量化

越村 俊一 (東北大学災害科学国際研究所教授)

16:55 洪水予測を効果的に用いてレジリエンスを高めよう

宮本 守 (国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 研究員)

17:05 インフラストラクチャー・レジリエンス・フレームワーク

大西 正光 (京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授)

17:15 被災現場の知見をいかにつないでいくのか—実務者と研究者の共創的取り組み—

荒木 裕子 (名古屋大学減災減災連携研究センター特任准教授)

17:25 統合知でレジリエンスを高めるオンライン・シンセシス・システム

井ノ口 宗成 (国立研究開発法人防災科学技術研究所主幹研究員/富山大学都市デザイン学部准教授)

17:35 総合討論 〈司会〉川崎 昭如 (日本学術会議連携会員、東京大学特任教授、未来ビジョン研究センター グローバル・commons・センター)

17:55 閉会挨拶 小池俊雄 (国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)センター長、日本学術会議第三部会員)

■参加方法: ぼうさいこくたいホームページ(<https://bosai-kokutai.jp/>)のプログラムのページ(<https://bosai-kokutai.jp/program/>)に YouTube Live 配信用 URL を掲載いたします。事前申し込みは不要です。

■お問合せ: 国立研究開発法人防災科学技術研究所 イノベーション共創本部共創推進室

<mizumotos@bosai.go.jp, k-igarashi@bosai.go.jp>